

経営陣をはじめ、各世代の 後継者育成を着実に実施

執行役員 経営管理本部長 経営管理担当 鰐部 仁



全従業員の団結力を強め、未来を創造

阪神・淡路大震災後の災害処理において、当社は能力をはるかに超える災害廃棄物処理を担いました。金子社長は常々、「不可能を可能にできたのは、全従業員が一丸となったから」と口にします。人財教育においてもこの経験をもとに、従業員が経営理念を理解し一丸となって未来を創造する意識を持つこと、また役員が強いリーダーシップで各部門を一致団結させ、時代の変化に対応する効率的な施設運営を行うことを目指しています。

グループ全体に経営への参画意識を醸成

収集運搬から最終処分までのワンストップサービスを提供するためには、グループ一体となった運営を行うことが重要です。各拠点がコミュニケーションを取り、経営トップと同じ想いで事業運営をしてもらうために、M&Aでグループに加わった会社も部門や事業所の枠を超えた

さまざまな研修に参加し、一体となってグループを成長させる気概が生まれるようにしています。グループの成長とともに拡大する焼却等熱処理施設の運用には資格取得者の増員が必要となるため、資格取得支援制度の利用促進によって個々のスキルアップを促しています。

何より、「信頼」を基盤とする当社グループの事業には高い顧客満足がなくてはならず、その前提となる従業員のエンゲージメント向上が欠かせません。従業員持株会において2024年3月期から導入した譲渡制限付株式報酬制度や奨励金の利率引き上げはその取り組みの一つ。従業員が経営へ参画する意識を醸成し、創業者精神を受け継ぐ人財の輩出につなげています。

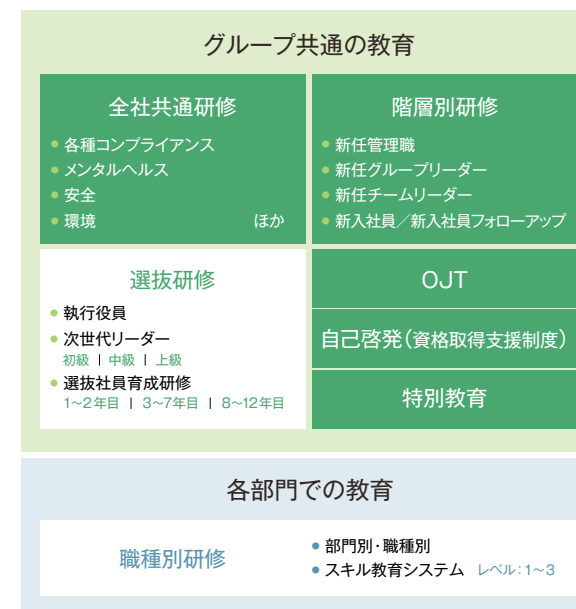
若手人財が幹部候補生へと成長

「選抜研修」や「次世代ビジネスリーダー研修」など、切れ目のない研修を続けてきたことで、20年前の新卒新入社員が今では当社の中核を担う上級管理者にまで

成長しました。彼らの後輩たちの中からも、若手ながら一気に職位を駆け上がる人財が現れています。

こうして今後も多くの成長していく「100年企業」の基盤づくりを担うリーダーには、創業者の想いを引き継ぎ、人間力においても向上を目指すことを期待しています。高い倫理観を持つリーダーが常に最前線に立ち、成長を遂げることは、経営ビジョンである「事業の持続性を高め、環境創造企業として進化する」ために不可欠であると考えています。

大栄環境グループの教育研修



部門間・事業所間の連携を深め 生産性向上の仕組みづくりを推進

大栄環境株式会社 事業本部副本部長 中村 龍男



三重中央開発(株)の容器包装リサイクル事業の立ち上げ期に入社し、現場で収益性の向上に奔走しました。大きな失敗も経験しましたが、この時に何をどう変えれば利益が出るのかを必死に考えて奮闘したからこそ、後にDINS関西(株)のR&E※1事業所長として事業の立て直しに従事した際に、一定の利益を生む事業へ改善できたと考えています。

現在は、副本部長として生産性向上に向けたDXを推進しています。関係部門と連携しながら事業所の声を聞き、経営層の方針と事業所の実態を融合させた最良の方策を考えています。また、4つの子会社の取締役を兼務し、ハードルの高い問題が生じた際にジャッジをして解決を図っています。いずれの職務においても、各部門が横断的に相談し合える関係性を築けるよう、常日頃のコミュニケーションを重視しています。

当社グループの将来のためには、生産性向上が不可欠です。創業精神を守りながら、「為せば成る」の精神で新しい手法を積極的に導入し、仕組みづくりを進めています。

※1 R&E: Recycle and Equalの略

これまでの経験をもとに 新たな組織構築に挑戦中

DINS関西株式会社 次長 稲井 ゆかり



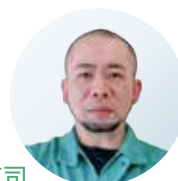
私は現在、DINS関西(株)全体の事務や内部統制の取りまとめ、取締役会の事務局などを担当しています。これまで多様な業務を経験し、キャリアを積むことができました。特に、GE※2事業所で担当した施設見学の顧客対応では、廃棄物処理の課題や自身の役割を理解できたことで、その後の開発案件や地域の方々への対応などをスムーズに進めることができたと考えています。

受講した中級の次世代ビジネスリーダー研修では、高い志を持ったメンバーとの議論を通じて、私にも「やり遂げる」信念が生まれました。今は、「脱・属人化」「ヒトの活性化」を目的とした新しい組織の構築に挑戦しています。「前しか見えない!」という気持ちで突き進み、組織構築を確実に形にしていきたいですね。

※2 GE: General Ecologyの略

第三種電気主任技術者の 資格を活かし責任者として 電気保安に貢献

大栄環境株式会社 三木事業所 電気保安課 堂本 淳司



実務未経験で入社した後、第一種電気工事士の資格を取得し、三木事業所で電気保安業務や管理業務に従事してきました。より専門的な業務に就きたいと考え、入社3年で難易度の高い第三種電気主任技術者の資格を取得し、現在は食品残さのリサイクルを担う堆肥化施設で変電設備の責任者を任されています。電気は奥が深く、求められる知識の専門性の高さや複雑さなどに頭を悩ませる場面も多々ありますが、全てが自分の成長につながると考え、業務に邁進しています。トラブルが発生した際に素早く対応して解決できた時や、現場の方々の要望にその場で応えられた時などには、成長を感じることができます。今後も勉強に終わりはありません。責任感を持って電気設備の安全を支えていきたいと思っています。

充実した環境づくりに注力し 女性管理職を志す社員を増やす

大栄環境株式会社 経営管理本部総務部総務1課 課長代理

吉岡 涼夏



株主総会の準備や開催、M&A後のPMI※3立ち上げ支援や各社の取りまとめを担当しています。株主総会の準備を重ね、当日の質疑応答が無事に終了した時はこれ以上ない達成感を感じました。

部下の育成では、スキルアップにつながる機会を与え、失敗からも学ばせながら目標達成まで伴走しています。他部門とのつながりの強化も重視し、全社が一つのチームとなれるよう、直接顔を合わせて話し合う場を持つことを大切にしています。

今後は、女性管理職を志す社員を増やすことが目標です。性別を問わず主要な仕事を担える環境づくりに力を入れ、自身のプライベートも充実させて、「私も目指したい!」と思ってもらえるようにサポートしていきたいと思っています。

※3 PMI: M&Aの成立後に行われる統合プロセス

